

平成23年6月定例議会は、6月7日に開会して一般会計補正予算、特別会計予算など16議案を審査し、全議案原案通り可決し（反対者なし）22日に閉会しました。



執行方針

無投票で4選をした吉田弘志町長の「町政執行方針の説明」が行われました。

（執行方針要約）

私は、町民皆さまのご支援をいただき4度目の町政を担当することになりました。町づくりは、継続性と革新性の調和の中で町民の幸せを追求しなければなりません。町民皆様のご支援と、議会皆様のご指導により、最大限の努力をします。

・各会計政策予算

一般会計は約2億4千万円を追加補正し、総額で約52億9千1百万円とします。特別会計は2会計で約1千3百万円を追加補正し、7特別会計全体で約25億8百万円となり、全会計では約78億3千万円の予算規模となっています。

・まちづくり関係

今年度スタートした第6期鹿追町総合計画を核として、町民参加による協働のまちづくりをより一層努力

します。

・町民課関係

新エネルギー、省エネルギーの実践事業を取り入れた「環境の町しかおい」の実現に向け一層努力します。



・農業関係

瓜幕地区のバイオガスパラント整備により、地域資源循環型社会の一層の実現を図ります。

・保健福祉関係

障がい者福祉について、障がい者やその家族が安心して地域で生活できるように支援体制を強化すべく、グループホームの設置等について研究を進めます。

・商工観光関係

帯広空港のダブルトラック化、秋の道東道の全面開通を控え、来訪者増に

補正予算

瓜幕バイオガスパラント計画始動 調査事業を開始

一般会計補正予算は2億9百59万円を追加し、総額を52億9千6百59万円としました。

主要な補正予算

○瓜幕バイオガスパラント調査 3百万円

現在、鹿追・中鹿追地区にある町環境保全センターは家畜排泄物を利用するプラントとしては国内最大級を誇ります。

瓜幕バイオガスパラントはその規模をしのぐ約3倍の能力を持つプラントでその実施設計に向けた基礎調査を行います。

○乳質向上対策事業 2百75万円

乳質向上のためにJA鹿追町と協力し、乳房炎発生防止事業に助成します。

○公営住宅整備 2千9百万円

緑町中央団地公営住宅（全体計画4棟8戸）のうち1棟2戸を建設します。



○発達支援センター改修 1千7百10万円

子どもの療育（児童デイサービス）の拠点施設として、旧老人福祉センターの未改修部分を整備します。



○消防ポンプ車購入 3千1百50万円

第一分団ポンプ車を更新、消防活動の充実を図ります。

○鹿追町民花火大会補助金 3百万円

地域の活性化と観光客の増加を図ります。

○クレーン付トラック購入 1千50万円

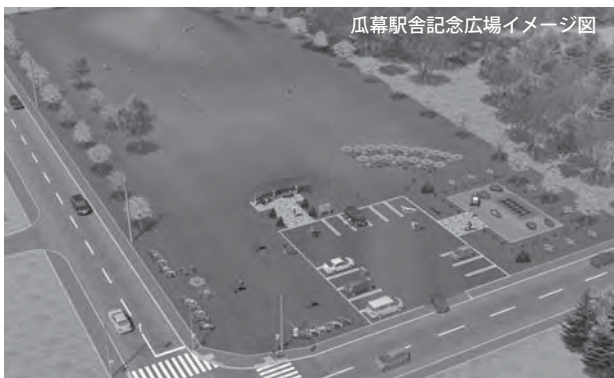
道路維持及び公園管理の充実を図ります。

○道路等整備事業 2千6百90万円

鹿追南8号線改良舗装工事、町道東町3号通りほか防塵処理工事、笠井橋補修工事等を行います。

○瓜幕駅舎記念広場整備 3千1百万円

瓜幕地域住民の憩いの場、瓜幕の玄関口として旧拓殖鉄道瓜幕駅跡地を活用した公園整備を行います。



特別委員会

22日、議会では「瓜幕バイオガスパラント調査等特別委員会」を設置しました。委員長は上嶋和志議員、副委員長に安藤幹夫議員、議長を除く10人の議員で構成されます。

同意

副町長に安部克裕氏を選任

6月30日に任期満了となる副町長安部克裕氏の選任（再任）提案があり、これに同意しました。

なお、安部副町長の任期は、平成27年6月30日まで4年間で。



固定資産評価審査委員に萩尾則子氏を選任

6月29日に任期満了となる固定資産評価審査委員に萩尾則子氏（緑町一）の選任（再任）提案があり、これに同意しました。

農業委員に推薦

7月19日に任期満了となる農業委員会委員に議会推薦として松浦優氏（東瓜幕）を推薦しました。



つぶやき

夏の甲子園十勝地区予選開会式。鹿追高校野球部の畑主将が選手宣誓。東日本大震災で被災した球児を思いやる宣誓は、爽やかに響き渡った。